

論文執筆のススメ

事例から学ぶ良い論文の書き方

どんな世界でも、よりよくするために、研究は欠かせないものです。

看護専門学校の先生には、看護研究がその役割とはされておきませんが、これまでの授業を向上させるために、授業研究など、教員力向上のために研究的な視点はやはり欠かせません。ただ、研究や、新しい方略を実践されるだけでは、やはりもったいないとも思ふのです。

今回の特集では、「論文執筆のススメ事例から学ぶ良い論文の書き方」です。論文執筆のルールやポイントなどとともに、実践的な執筆、指導、取り組んだ動機についてご紹介します。もちろん、書くこと、まとめることは、業務外の多くの時間が必要でしょう。しかし、先生が取り組まれた研究は、きっと他の先生方も参考にしたい内容です。研究や実践を論文として発表していただくことで、自分の所属する機関だけでなく、業界全体の刺激となります。あなたの宝物を、ぜひ広く、同じ道を歩まれている先生方にお伝えください。